

# 和<sup>わ</sup>田<sup>だ</sup>季<sup>とし</sup>子<sup>こ</sup>の エネカ<sup>りよく</sup>アップ<sup>アップ</sup>

vol. 3

今回も一緒に  
エネカ(エネルギーについて  
考え行動できる力のこと)を  
アップしましょう!

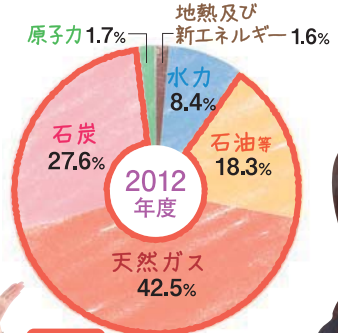
フリーアナウンサー  
わだとしこ  
和田季子

## 電気の素、エネルギー資源

家庭で使われているエネルギー源の半分以上は電気です。日本の電気は、主に水力発電・火力発電・原子力発電を組み合わせで作られています。

この号では、電気を作するために必要なエネルギー資源について紹介します。

### 電源別発電電力構成比



**memo**  
現在の日本の電気は、その約9割が火力発電で作られています。

出典：電気事業連合会  
「2012年度電源別発電電力量構成比」より作成

## エネルギー資源には限りがあります

火力発電の割合が多いね。



地球が何億年、何千万年という長い年月をかけて作り出したエネルギー資源には限りがあります。主なエネルギー資源の可採年数(※)は左記のとおりです。今後、技術の発展や新たな油田や鉱山の発掘などでこの年数が増える可能性があります。が、いずれなくなってしまうものには変わりありません。

エネルギー資源は発電以外にも、工場や家庭で熱として、自動車や飛行機の燃料として、また化学製品の原料として、幅広く使われています。私たちの快適で豊かな暮らしは、エネルギー資源に支えられています。エネルギー資源は地球からの贈りものです。次の世代に少しでも多く引き継げるように、エネルギー資源の節約、すなわち省エネや省資源に取り組みましょう。

## 世界のエネルギー資源可採年数および確認埋蔵量

※可採年数とは、あとのくらい採掘できるか示した係数です。  
可採年数=確認可採埋蔵量/年間生産量 ウランの確認可採埋蔵量は費用130ドル/kg未満

可採年数  
54.2年



可採年数  
63.6年



エネルギー資源にも  
限りがあるってことだね。  
大切にしようね!

可採年数  
112年



可採年数  
93年



※イラストは全てイメージです。  
出典：電気事業連合会「原子力・エネルギー図面集2013」より作成

### Next

次号では、  
日本のエネルギー事情について紹介します。

## 中国地域エネルギーフォーラム

〒730-0011 広島県中区基町5-44 広島商工会議所ビル4階  
TEL 082-227-1044 FAX 082-227-1088 E-mail mail@cef.jp  
HPにて「エネカアップ」バックナンバー掲載 <http://cef.jp/>

中国地域エネルギーフォーラムは、講演会やイベントの開催、エネルギー施設の見学会、学校への出前授業、学習教材の貸出しなど、エネルギーと地球環境に関する様々な広報・普及活動を行っています。